株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月中開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当　毎年３月31日 中間配当　毎年９月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目８番４号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031 （土日祝祭日を除く９：00～17：00）
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなう。
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	8097

各種お手続きについて

株式に関するお手続きおよびご照会について

住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先にお願いいたします。

（証券会社等の口座に記録された株式）
口座のある証券会社等

（特別口座に記録された株式）
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

証券会社等への口座振替のおすすめ

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまのご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引をおこなうためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主さまの口座に株式を振替えること（＝口座振替）をおすすめします。

お手続きの詳細につきましては、左記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

左記株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK

Obbli

三愛オブリ株式会社

第93期 中間報告書

2023年４月１日～2023年９月30日

目次

株主のみなさまへ…… 1
事業の概況…… 3
財務情報…… 6
TOPICS …… 8
企業インフォメーション…… 9
株式の状況…… 10
株主メモ／各種お手続きについて…… 裏表紙

株主のみなさまへ

代表取締役社長
隼田 洋

代表取締役会長
金田 準

経営理念

「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」は、
創業者　故 市村清の掲げた創業（三愛）精神です。

「顧客、地域、社会と共に、良い関係を結ぶ」ことで、豊かな社会の実現に向けて貢献できるよう邁進してまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社は、2023年９月30日をもちまして、第93期第２四半期を終了いたしましたので、当社グループにおける事業の概況をご報告かたがたご挨拶申しあげます。

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が５類へ移行したことに伴い、経済活動の正常化が進みました。

当社グループを取り巻くエネルギー業界におきましては、旅行などを中心とした個人消費やインバウンド需要の持ち直しにより航空燃料などに需要の回復がみられました。

その一方で、物価上昇などによる家計消費の落ち込みが懸念されております。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge2030」のもと、低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオの構築に向けて人材育成の強化や新規事業の開発に取り組んでまいりました。

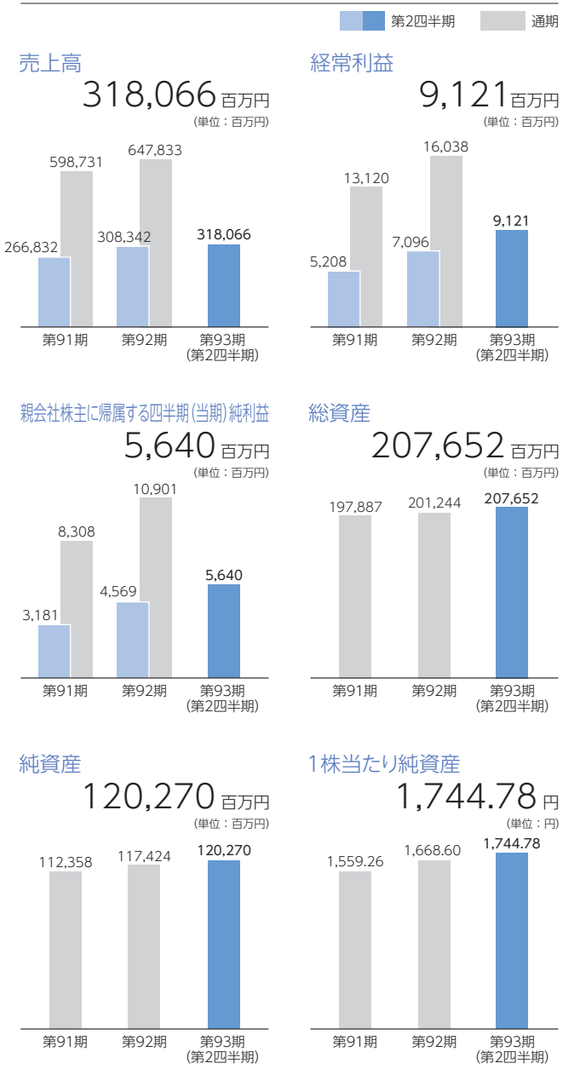
今後も当社グループは、経営理念である三愛精神を礎として、コーポレートブランド「Obbli」（オブリ）が意味する「顧客、地域、社会と共に、良い関係を結ぶ」ことで「人々の生活と産業を支えるパートナー」として、豊かな社会の実現に向けて貢献できるよう邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

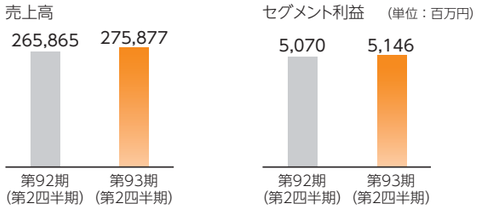
2023年12月

Obbli

連結業績の推移



石油関連事業



※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

石油製品販売業

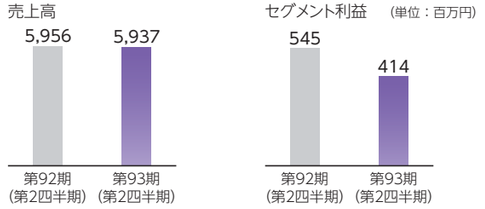
特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料油・潤滑油の販売、SS（サービスステーション）での小売販売を通して全国に石油製品を供給しております。　2023年９月30日現在 系列SS1,016ヶ所

石油製品販売業におきましては、販売数量は前年同期並みとなりましたが、売上高は販売価格が上昇したことにより前年同期を上回りました。各部門の状況は以下のとおりです。

石油小売部門では、直営SSでの販売は低調に推移し、販売数量、利益ともに前年同期を下回りました。石油卸売部門では、在庫評価による利益が増加したことにより、利益は前年同期を上回りました。産業用燃料油販売部門では、新規取引先の獲得に努めたものの、既存取引先への販売数量が減少し、販売数量、利益ともに前年同期を下回りました。産業用潤滑油販売部門では、ガスエンジンのメンテナンスや風力発電の内視鏡検査などによる手数料収入が増加したことにより、利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、石油関連事業における売上高は、販売価格の上昇により前年同期比3.8％増の2,758億77百万円となりました。セグメント利益は、石油卸売部門の在庫評価による利益が増加したことにより前年同期比1.5％増の51億46百万円となりました。

化学品関連事業



※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

化学品製造販売業

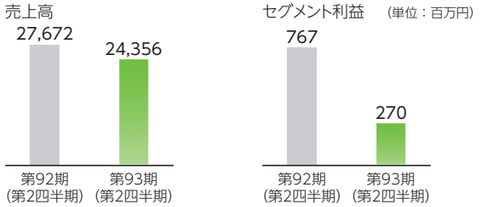
防腐・防かび剤、石油系溶剤、自動車用ケミカル商品等の製造や販売をおこなっております。

化学品製造販売業におきましては、販売数量は製品ごとに増減はあるものの概ね前年同期並みで推移しました。製品別の状況は以下のとおりです。

自動車関連商品では、自社製品である撥水コート剤の販売が好調だったことから、利益は前年同期を上回りました。防腐・防かび剤では、部品供給不足に伴う自動車関連工場の稼働率低下により、金属加工油用途等への販売数量が減少したものの、利幅の回復により利益は前年同期を上回りました。粘着付与剤では、接着剤や梱包テープ用途の販売数量が減少したことにより、利益は前年同期を下回りました。なお、石油系溶剤では、販売数量、利益とも前年同期並みで推移しています。

以上の結果、化学品関連事業における売上高は前年同期比0.3％減の59億37百万円となりました。セグメント利益は、粘着付与剤の利益が減少したことにより前年同期比23.9％減の４億14百万円となりました。

ガス関連事業



※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

LPガス販売業

家庭用、業務用等LPガス、産業用一般高圧ガスの販売およびリフォーム・ガス器具販売等の事業を関東・東海エリア、中国・近畿エリア、九州エリアを中心に展開しております。
2023年９月30日現在 小売顧客軒数120千軒

LPガス販売業におきましては、販売数量は概ね減少傾向となりました。各部門の状況は以下のとおりです。

小売部門では、夏場の猛暑などによって家庭用を中心に単位消費量の減少が見られたものの、新規顧客の獲得と小売営業権買収による顧客軒数の増加や利幅の改善等により、利益は前年同期を上回りました。卸売部門では、在庫評価の影響により、利益は前年同期を大きく下回りました。

なお、2021年から世界的な電子部品の供給不足により、給湯器をはじめとした住宅設備機器の納期遅延が発生していましたが、当事業年度に入り解消されています。

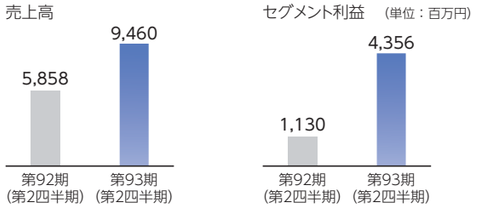
天然ガス販売業

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっております。

天然ガス販売業におきましては、家庭用の需要は減少したものの、業務用・工業用は新規需要家の獲得により、販売数量は前年同期を上回りました。しかしながら、調達先のコスト増加による仕入価格の上昇により、利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、ガス関連事業における売上高は、LPガスの販売価格の下落により前年同期比12.0％減の243億56百万円となりました。セグメント利益は、卸売部門の在庫評価の影響によって利益が減少したことにより前年同期比64.8％減の２億70百万円となりました。

航空関連事業



※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

航空燃料取扱業

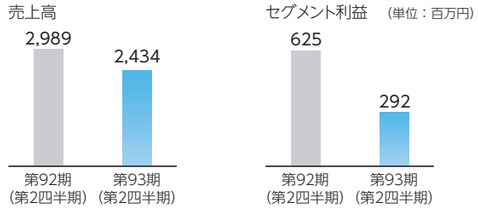
羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで全国27ヶ所で給油業務や給油施設の管理等をおこなっております。

航空燃料取扱業におきましては、新型コロナウイルス感染症が５類へ移行したことや海外からの入国者に対する水際対策が緩和されたことに伴い、航空需要は好調に推移しました。

羽田空港における航空需要は、国内線ではコロナ禍前の2019年度と概ね同水準で推移し、国際線では訪日外国人の増加により大幅に増加しました。これにより、国内線と国際線を合わせた燃料取扱数量は、コロナ禍前の2019年度比で約15％の増加となりました。

以上の結果、航空関連事業における売上高は、羽田空港における燃料取扱数量の増加により前年同期比61.5％増の94億60百万円となりました。セグメント利益は43億56百万円（前年同期は11億30百万円のセグメント利益）となりました。

その他事業



※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

その他

金属製品等の洗浄・表面処理業、建設工事業等をおこなっております。

その他事業におきましては、金属製品等の洗浄・表面処理業では、半導体市場の縮小に伴う半導体メーカーの生産調整等により、精密洗浄処理の受注が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。また、大型物件の受注が低調であったことから建設工事業の売上高も前年同期を下回りました。

以上の結果、その他事業における売上高は、金属製品等の洗浄・表面処理業が低調に推移したことにより前年同期比18.6％減の24億34百万円となり、セグメント利益は前年同期比53.3％減の２億92百万円となりました。

四半期連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

		当第2四半期	前　期
		2023年9月30日現在	2023年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産		**100,958**	**98,380**
現金及び預金		46,699	47,017
受取手形、売掛金及び契約資産		43,663	43,144
有価証券		100	-
商品及び製品		8,720	7,542
仕掛品		120	85
原材料及び貯蔵品		137	146
その他		1,993	919
貸倒引当金		△478	△475
固定資産		**106,693**	**102,863**
有形固定資産		52,614	51,522
建物及び構築物		20,352	19,812
機械装置及び運搬具		8,355	6,976
土地		18,792	18,420
その他		5,114	6,312
無形固定資産		6,780	6,197
のれん		1,808	1,683
顧客関連資産		1,048	1,093
その他		3,923	3,419
投資その他の資産		47,297	45,143
投資有価証券		19,194	17,140
退職給付に係る資産		2,226	1,991
差入保証金		24,858	24,865
その他		1,113	1,242
貸倒引当金		△95	△96
1 **資産合計**		**207,652**	**201,244**

		当第2四半期	前　期
		2023年9月30日現在	2023年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債		**71,291**	**67,453**
支払手形及び買掛金		47,235	44,908
短期借入金		300	300
1年内返済予定の長期借入金		1,443	2,346
未払法人税等		2,533	3,530
賞与引当金		1,825	2,041
役員賞与引当金		39	89
完成工事補償引当金		0	0
その他		17,913	14,234
固定負債		**16,089**	**16,366**
長期借入金		1,392	2,115
役員退職慰労引当金		179	208
特別修繕引当金		228	217
退職給付に係る負債		116	117
資産除去債務		611	609
その他		13,560	13,098
2 **負債合計**		**87,381**	**83,819**
【純資産の部】			
株主資本		**110,274**	**109,241**
資本金		10,127	10,127
資本剰余金		2,533	2,531
利益剰余金		101,092	97,862
自己株式		△3,477	△1,280
その他の包括利益累計額		**4,127**	**2,496**
その他有価証券評価差額金		5,830	4,338
土地再評価差額金		△613	△612
退職給付に係る調整累計額		△1,090	△1,228
非支配株主持分		**5,868**	**5,686**
3 **純資産合計**		**120,270**	**117,424**
負債純資産合計		**207,652**	**201,244**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てして表示しております。

1 資産について

前期末に比べ64億７百万円増加し、2,076億52百万円となりました。これは主に、投資有価証券の時価が上昇したことによるものであります。

2 負債について

前期末に比べ35億61百万円増加し、873億81百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

3 純資産について

前期末に比べ28億46百万円増加し、1,202億70百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前期末の55.5％から55.1％となりました。

四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前　期
	2023年4月1日～2023年9月30日	2022年4月1日～2022年9月30日	2022年4月1日～2023年3月31日
1 売上高	318,066	308,342	647,833
売上原価	287,350	280,609	589,359
売上総利益	**30,716**	**27,733**	**58,474**
販売費及び一般管理費	22,049	21,071	43,263
営業利益	**8,666**	**6,661**	**15,211**
営業外収益	609	624	1,186
営業外費用	154	188	358
2 **経常利益**	**9,121**	**7,096**	**16,038**
特別利益	38	106	1,139
特別損失	142	24	390
税金等調整前四半期（当期）純利益	**9,017**	**7,179**	**16,787**
法人税、住民税及び事業税	2,787	2,117	5,384
法人税等調整額	183	129	△167
四半期（当期）純利益	**6,046**	**4,931**	**11,571**
非支配株主に帰属する四半期（当期）純利益	406	362	669
3 **親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益**	**5,640**	**4,569**	**10,901**

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てして表示しております。

1 売上高について

石油製品の販売価格の上昇により前年同期比3.2％増の3,180億66百万円となりました。

2 経常利益について

航空関連事業の業績が好調に推移したことにより前年同期比28.5％増の91億21百万円となりました。

3 親会社株主に帰属する四半期純利益について

前年同期比23.4％増の56億40百万円となりました。

連結セグメント情報（セグメント利益）

単位：百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前　期
	2023年4月1日～2023年9月30日	2022年4月1日～2022年9月30日	2022年4月1日～2023年3月31日
石油関連事業	5,146	5,070	9,587
化学品関連事業	414	545	1,138
ガス関連事業	270	767	2,197
航空関連事業	4,356	1,130	3,766
その他事業	292	625	1,152
計	10,479	8,139	17,841
調整額	△1,358	△1,042	△1,803
（四半期）連結損益計算書計上額	9,121	7,096	16,038

（注）1.記載金額は、百万円未満を切捨てして表示しております。
2.セグメント利益は、（四半期）連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

地域社会における脱炭素社会の実現に向けた取組み

三愛オブリ株式会社および三愛オブリガス東日本株式会社、MOILホールディングス株式会社は、2023年９月、埼玉県美里町と同町の「脱炭素ビジョン」の実現に向けた包括連携協定を締結しました。この協定により、各社が持つ技術や資源を活用して、脱炭素に向けたさまざまな取組みを進めてまいります。

また、佐賀ガス株式会社と佐賀市は、2023年７月、「ゼロカーボンシティさがし」の実現に向けた連携協定を締結しました。この協定は、双方の資源を有効に活用することで佐賀市民の地球温暖化防止に対する意識向上を図るとともに、脱炭素社会の実現に寄与することを目的としております。

三愛オブリグループは、これらの取組みを通じて、地域社会と協力しながら、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

埼玉県美里町との協定の締結式の様子

佐賀市との協定の締結式の様子

中間報告書の制作および郵送の廃止について

当社では、エネルギーを取り扱う企業の責務の一環として、環境負荷の抑制の観点から中間報告書の制作および郵送を廃止することといたしました。

中間報告書は当社の事業活動状況や経営成績を株主のみなさまにご報告する重要な資料ではありますが、同報告書は「決算短信」および「四半期報告書」と内容が重複していることから、第94期（2025年３月期）の中間報告書より制作と郵送を廃止させていただきます。

今後は、主に当社ウェブサイトにて株主のみなさまへの情報提供の充実に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようよろしくお願い申しあげます。

企業インフォメーション (2023年９月30日現在)

会社の概要

本店所在地　東京都品川区東大井五丁目22番５号

本社事務所　東京都千代田区大手町二丁目３番２号

創業年月日　1952年６月９日

主要な事業内容
- 一般石油製品およびLPガス等の販売
- ガス事業法に基づくガス導管事業およびガス小売事業におけるガスの供給
- 航空燃料の保管および航空機への給油
- 防腐・防かび剤、消火剤、その他の化学薬品の販売
- 一般石油製品の保管およびこれに伴う業務

従業員数　372名

(注) 入向者数２名を含み、出向者、臨時雇用者、常勤嘱託、非常勤嘱託、常勤顧問、非常勤顧問は含まれておりません。

資本金　10,127百万円

役員

取締役

代表取締役会長　金田 準

代表取締役社長　隼田 洋

取締役　大沼 尚人　佐藤 孝志　石井 浩一郎

社外取締役　鵜瀞 惠子　二宮 洋二　鈴木 久泰

監査役

常勤監査役　上野 篤志　松村 淳一

社外監査役　豊泉 貫太郎　渡邉 秀俊　加藤 文彦

執行役員

社長執行役員　隼田 洋

専務執行役員　大沼 尚人

執行役員　佐藤 孝志　石井 浩一郎　須藤 晃　杉浦 克徳　永松 慎一

主なグループ会社

石油関連事業　キグナス石油(株)　三愛リテールサービス(株)　三愛オブリ東日本(株)　三愛オブリ北陸(株)

化学品関連事業　三愛理研(株)

ガス関連事業　三愛オブリガス東日本(株)　三愛オブリガス播州(株)　三愛オブリガス中国(株)　三愛オブリガス九州(株)　三愛オブリガス三神(株)　佐賀ガス(株)

航空関連事業　三愛アビエーションサービス(株)　(株)KAFCO

その他事業　三愛オブリテック(株)

ホームページのご案内　当社ホームページでは会社情報や財務情報をはじめとした事業活動やその動向などを紹介しております。当社をよりご理解いただくためにもWebサイトを是非ご覧ください。

https://www.san-ai-obbli.com/　三愛オブリ　検索

会社情報

IR情報

サステナビリティ

株式の状況 (2023年９月30日現在)

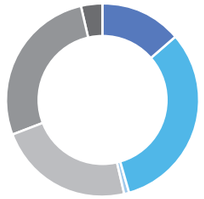
発行可能株式総数……277,870,000株
発行済株式の総数……68,000,000株
株主数……4,285名
単元株式数……100株

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人市村清新技術財団	8,282	12.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,845	10.44
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・株式会社リコー退職給付信託口)	5,800	8.85
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,926	5.99
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,010	4.59
野村　幸弘	2,059	3.14
ENEOSホールディングス株式会社	1,967	3.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,920	2.93
光通信株式会社	1,762	2.69
損害保険ジャパン株式会社	1,501	2.29

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は、自己株式を2,431,528株保有しております。

所有者別株式分布



個人その他	13.7%	その他の国内法人等	23.0%
金融機関	31.9%	外国法人等	27.0%
証券会社	0.8%	自己株式	3.6%

中間配当について

第93期(2023年４月１日から2024年３月31日まで)の中間配当につきましては、2023年９月30日現在の株主のみなさまに以下に記載のとおり実施させていただきます。

中間配当:１株につき金30円
支払開始日:2023年12月５日(火)

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は2023年12月５日から2024年１月５日までとなっております。

口座振込をご指定されていない株主さまは、同封の「第93期中間配当金領収証」をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にて払渡期間内にお受け取りください。

１株当たり配当金の推移

(単位:円)

	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
中間配当	13.00	14.00	14.00	14.00	19.00
期末配当	14.00	14.00	14.00	26.00	36.00
年間	27.00	28.00	28.00	40.00	55.00

(注) 第91期の期末配当には、創立70周年記念配当3.00円が含まれております。